

## 大阪自治労連に新しい仲間

# 河南町職員労働組合が加入

2月14日の大阪自治労連第85回中央委員会で加入が承認された河南町職員労働組合。執行委員長の内田靖さん、書記長の金岡史郎さんに、改めて大阪自治労連加入への思いや、今後の抱負などについて聞きました。

河南町は人口約1万5000人、西は富田林市、東は葛城山脈の稜線が奈良県の葛城市・御所市に接し、古墳や遺跡などの文化財もあり、自然と歴史に恵まれた町です。



インタビュー当日、改めて加入を歓迎しました（左から大阪自治労連の小山副委員長、竹中副委員長、河南町職労の金岡書記長、内田委員長、大阪自治労連の中島副委員長）

### きびしい情勢を 大阪自治労連に入って 乗り越えていきたい

組合結成は1989年4月。当時、職員の宿日直問題や行政職Ⅱ表の導入などの課題がある中、組合として当局と解決を図ってきました。

5年前の退職金大幅削減の時は、荒田委員長（当時は副執行委員長）に来てもらい学習会も開催しました。

一方で、組合員が減り組合の影響力が弱くなり、昨年は当局が一方的に退職金を削減しました。会計年度任用職員制度のことや、公務労働の変質など、きびしい状況乗り越えるためには、自分たちだけでは対応できないと思い加入を決めました。

### 職場の問題は山積 現場の意見をききたい

今、気になることは、「私の職場では下水道の公営企業法適用や36協定の問題、全庁的には長時間残業が課題です。残業問題は組合結成当初に随分改善しましたが、今は悪化しています」と内田委員長。金岡書記長は「非正規率が4割をこえている問題や、町立の幼保一体型認定こども園をつくることになっていますが、現場の意見がどうなっているか気になります」

### 組合の姿を見せて 仲間を増やしたい

今後やりたいことは「職員の休憩室が物置場になっており、



中央委員会で、大阪自治労連・荒田委員長（左）より内田委員長へのほりが贈られました

休憩室として使えるように求めています。今は随分きれいになりました。些細なことですがこんなことからやっていきたいです。また、12月25日の朝宣伝で、宿日直職員の方が組合に加入しました。

「私の職場『大宝連絡所（公民館）』を複数体制にしたいです。再任用の私と公休日に入ります。非常勤職員1人で証明書発行や公民館の管理業務をしています。自分の休憩や館内の見回りなどができるように改善したいです。また、組合として動いて要求が職場から出てくるようにしたいです」と金岡さん。

紙面に載せきれない思いがあふれたインタビューは「大阪自治労連や河南地協の皆さんにいろいろんことを教わりたいです。よろしく願います」のメッセージで締めくくられました。



3月3日中之島公会堂で開催された「春をよぶ府民のつどい」（主催「明るい民主大阪府政をつくる会・大阪市をよくする会」）に1000人以上が集まりました

「明るい会」の荒田功事務局長は「密約破たん末のダブル選挙に大義はない。大阪の未来を切り拓くのは府民の力であることは昔も今も変わらない。維新政治を終わらせるため力を合わせよう」とよびかけました。（2・3面に関連記事）

# 職場・住民の願い実現へ みんなで行こう



3月3日、大阪市内で大阪自治労連と大阪自治労連が共同で統一宣伝行動を行い、「カシノはあかん」「大阪都構想ノー」「二度目の住民投票ノー」などと訴えました。市民からは「こんなやり方はおかしい」「カシノはやっぱりあかんわ」などの反応があり、自分からビラを受け取りに来る人もいました（写真は京橋駅前）。